

【教育目標】 英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

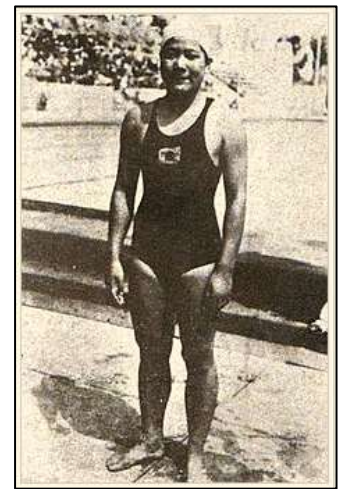


中野だより

平成 31 年 2 月 2 7 日 発行 第 1 0 号 発行者:中野区立中野中学校

がんばれ！の話

「前畑！前畑がんばれ！がんばれ！がんばれ！ゲネルゲンも出てきました。ゲネルゲンも出ております。がんばれ！がんばれ！がんばれ！がんばれ！がんばれ！がんばれ！がんばれ！前畑、前畑リード！前畑リード！前畑リードしております。前畑リード、前畑がんばれ！前畑がんばれ！リード、リード、あと5メートル、あと5メートル、あと4メートル、3メートル、2メートル。あッ、前畑リード、勝った！勝った！勝った！勝った！勝った！勝った！前畑勝った！勝った！勝った！勝った！勝った！勝った！前畑勝った！前畑勝った！前畑勝ちました！前畑勝ちました！前畑勝ちました！」（ウィキペディアより）



前畑秀子選手
（ウィキペディアより）

ベルリン・オリンピック競泳女子 200 メートル平泳ぎ決勝のラジオ実況である。この伝説の実況と日本人の応援に後押しされ、前畑選手は日本女性初の金メダリストとなった。

「前畑、がんばれ！」 今から 83 年前の話である。

そして、今また数え切れない「がんばれ！」のエールを送られているアスリートがいる。日本競泳界のエース池江璃花子選手だ。

池江選手は中学 3 年のときから日本代表として世界選手権に出場。昨年夏、パンパシフィック選手権 100 メートルバタフライで金メダルを獲得し、世界ランキング 1 位となった。また、ジャカルタ・アジア大会では 6 冠を達成し、最優秀選手に選ばれた。

自宅の風呂で水中出産によって生まれた彼女はまさに「水の申し子」であり、日本で一番元気な女性と言っても過言ではない。その彼女が、先日ツイッターで自身が白血病であることを公表した。そして、「しっかり治療すれば、完治する病気でもあります。さらに強くなった姿を見せられるよう頑張っていきたい」と綴った。その翌日には、「私は、神様は乗り越えられない試練は与えない、自分に乗り越えられない壁はないと思っています」とツイートし、病に立ち向かい、必ず勝つとの姿勢を示した。惜しまない努力で水泳界の数々の記録を塗り替えてきた彼女なら、きっと病も克服するであろう。

「池江選手、がんばれ！」 あの花のような笑顔を見られる日を待ちたいと思う。

4 年前のこと。映画「風に立つライオン」が公開され観に行った。映画の中で、主人公がアフリカの草原に向かって「がんばれ〜っ！がんばれ〜っ！」と叫び、こう言う。

「がんばれは、他人でなく自分に向かって言う言葉なんだ」

映画を見ながら、私は病気で入院し、余命いくばくもない母親との会話を思い出していた。

母親の入院先に見舞いに行ったある日の帰り際のことである。1日でも長く生きてくれることを願い、私は「おふくろ、がんばれよ！」と声をかけた。それに対し母親は、「今までがんばったべよ」と弱々しい声で応えた。帰りの車中、痛みと苦しみに命をつないでいる母親に、自分の都合で「がんばれ！」と言ってしまったことを後悔した。1ヶ月後、母親は鬼籍に入った。以来、「がんばれ」の使い方の難しさを実感していたのだが、映画を観て得心が行った。がんばるのは他人でなく、まずは自分自身なのだ。

「がんばれ！ 自分!!」 心の中で叫んでみる。案外その気になる。

百人一首大会

1月22日(火)、1学年恒例の百人一首大会が実施されました。

大会を実施するに当たっては国語係や百人一首ボランティアが中心に準備を行ってくれました。おかげ様で、当日は大いに盛り上がりました。

大会の結果、個人の部では1位はA組高山直樹君(51枚)、2位はB組國分悠杜君とD組中江和君(41枚)、クラス対抗では、優勝A組、準優勝D組となりました。



給食週間



1月24日(木)～30日(水)の学校給食週間に2年生がランチルームを利用して給食に関する様々なことを学びました。

給食で利用している出汁の試飲をしたのですが、とても美味しいということだけでなく、出汁の使用によって減塩につながることを理解しました。

また、昔の給食よりも今食べている給食の方が食材も増え、栄養価も高く、圧倒的においしいということを知りました。

芸術表現体験事業

2月7日、14日、21日の3日間、第1学年において文科省「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験事業」として、オフィスエルール代表谷津加大利様及びアシスタント5名をお迎えし、演劇の手法を使った道徳授業を行いました。

「コミュニケーション能力」は人とのかかわる力であり、社会で生きていくために必要とされる力です。今回の授業を受けた1年生からは、「他人と協力し合ったり、他人の立場で物事を考えたりすることで自然とコミュニケーションすることができて、とても良い経験ができました」という感想が寄せられました。



移動教室

1月28日(月)～30日(水)、第2学年が軽井沢自然の家を宿舎として湯の丸スキー場でスキー教室を実施しました。スキー初体験で初日まったく滑れなかったという生徒が多かったのですが、どの生徒も3日間で見事な上達を遂げました。

移動教室はスキーの技術を上達させることだけが目的ではありません。今回の移動教室の目標の一つに「自分の役割に責任をもつ」があります。期間中、生徒一人ひとりが係活動等でその目標を達成し、各部屋が集団として大いに機能する瞬間が随所に見受けられました。今後の学校生活でも、それらの成長した姿を活かしていき、魅力あふれる集団となることを期待しています。(関山副校長)



<表 彰>

○全国中学生人権作文コンテスト

- <東京都作文委員会賞> 弓谷 照美 (再掲)
<中野区人権擁護委員賞> 村仲 美瑛

○中野区中学校書初めコンクール

- <最優秀賞>河野 莉子(2)
<金賞>林田 未来(3)、山中 璃胡(2)、矢田 瑛大(1)
<銀賞>大谷 姫菜(3)、齋藤 珠里(2)、松井 天音(2)、
有賀 美遥(1)、堀 鮎乃(1)
<銅賞>佐々木春和(3)、矢田 莉子(3)、須賀 遥翔(1)

○東京都中学校新人卓球大会

- <男子シングルス> 5位 古谷 直樹

○中野区中学校バドミントン冬季研修大会

- <女子シングルス2部> 1位 寺久保百那
<女子ダブルス2部> 2位 野村まひな、三輪 ゆづ
<男子ダブルス2部> 3位 豊嶋 こう、木原 隆士郎
3位 三好 蓮、林田 拓真

○東京都中学校アンサンブルコンテスト

- <A部門> 銀賞 二上 結、菅原 彩希、内藤 栞子、廣瀬 望愛、森下莉采乃

○中野区中学校バスケットボールフェスティバル南北対抗戦

- <優秀選手賞、得点ランキング1位、リバウンドランキング1位>
渡邊 斐翔
<優秀選手賞>小藤 らら
<リバウンドランキング1位> 大橋 広美

○中野区中学校ソフトテニス冬季研修阪本杯

- <女子団体> 優勝

○中野区中学校卓球冬季研修大会

- <女子オープンの部> 1位 岸 小都美
<男子オープンの部> 3位 古谷 直樹
5位 漆原 明
<男子1年の部> 5位 佐藤 優生

○防災標語コンクール

- <東京都教育委員会表彰> 東 広郷
～日常の 備えが実る 災害時～

